

## 令和 6 年度 第 1 回太宰府市地域福祉推進委員会 議事録（要約）

○日時 令和 6 年 12 月 17 日（火） 18 時 30 分～20 時

○場所 市役所 3 階庁議室

○出席者

太宰府市地域福祉推進委員会委員（出席 11 名、欠席 0 名）

太宰府市（健康福祉部長、健康福祉部理事、健康福祉部統括マネージャー、福祉課長、福祉政策係長、福祉政策係員）

○傍聴者 1 名

○協議事項

議題 第四次太宰府市地域福祉計画実施報告書（令和 5 年度）及び取り組み計画書（令和 6～7 年度）について

○内容

■開会

■委嘱状交付（机上交付）

■市長あいさつ

■委員・事務局自己紹介

■会長・副会長選出

会長、副会長が選出され、会長並びに副会長のあいさつが行われた。

■傍聴人ありの報告

■資料確認

■議事

「太宰府市地域福祉推進委員会規則」第 6 条に基づき、議事進行を会長が行う。

議題 第四次太宰府市地域福祉計画実施報告書（令和 5 年度）及び取り組み計画書（令和 6～7 年度）について

※資料 1 第四次太宰府市地域福祉計画実施報告書（令和 5 年度）及び取り組み計画書（令和 6～7 年度）（以下、「実施報告書及び取り組み計画書」とする）

**説明**

事務局)

はじめに、第四次地域福祉計画の概要、実施報告書及び取り組み計画書の資料の構成について説明  
続いて、「基本目標 1 みんなで寄り添う」について、実施報告書及び取り組み計画書の概要を説明

**質疑**

A 委員)

9 ページの通し番号 7 番「ゲートキーパー研修」について、「令和 6 年度は食生活改善推進員を対象  
に、8 月に実施予定」と書いてあるが、実施されたのか。

事務局)

実施報告書及び取り組み計画書を作成したのが、年度当初なので、記載内容が作成当時の情報になっ  
ているが、予定通り実施した。

A 委員)

17 ページの通し番号 13 番「訪問相談支援」について、「令和 5 年度の訪問者数は 169 人」とあるが、  
令和 6～7 年度の目標はあるのか。

事務局)

令和 6 年度は対象者の 8 割を目標としている。

A 委員)

対象者はどのくらいいるのか。

事務局)

今この場で数字まで把握していない。

A 委員)

どういった方法で対象者を把握しているのか。

事務局)

国民健康保険を使って受診された方は把握できるため、病院の受診歴がない方や介護保険サービスを利用  
されていない方をリストアップして訪問している。

健康福祉部長)

訪問して拒否される方も多数おられるとの現場の声も聞いており、今後の課題と捉えている。

B 委員)

2 ページの通し番号 1 番「広報だざいふ」について、「令和 6 年度からの新たな取り組みとして、『声

の広報だざいふ』の音声データを市ホームページで公開する」とあるが、現在利用はあっているのか。

事務局)

ホームページを閲覧されて、何人の方が音声データを聞かれたかはわからない。今までは CD をお届けしていたが、ホームページでも聴くことができる状態になった。

C 委員)

20 ページの通し番号 15 番「子ども家庭センター」について、令和 6 年 2 月に設置と書いてあるが、どちらに設置されたのか。

事務局)

子育て支援センターが、ごじょう保育所の横にあるが、その中に子ども家庭センターを設置している。

**説明**

事務局)

「基本目標 2 支援を届ける」について、実施報告書及び取り組み計画書の概要を説明

**質疑**

A 委員)

市内西鉄バスの星ヶ丘線が来年の 4 月には廃止という計画が出ていると聞くと、これに対する計画などはあるか。

事務局)

市としては、路線を継続したいというところで、継続して西鉄と協議を行っているところである。

A 委員)

計画のままいくと、来年の 4 月には路線がなくなるということになってしまうが、そのときにどうするかというところはやはり考えていただきたい。

C 委員)

28 ページの通し番号 24 番「リフレッシュ時預かり事業」について、令和 5 年度の実績で年間利用者数が 162 人となっているが、令和 6～7 年度の年間目標利用者数が 150 人と記載されており、目標でいうと、不足してしまうと思うが、その点に関して、目標値の修正など、何か具体的な手立てを考えておられるか。

D 委員)

令和 5 年度は 162 人となっているが、今年はかなり増えてきており、200 人くらいになるのではないと思われる。子育て支援センターにほかほかルームがあるが、そこに来られた方に、この事業の PR を行うことで、段々と利用者が増えてきている。育休の方が利用されることが多く、保育園が決まってしまうと、この事業を利用される方がいなくなるので、お家にいる方で、疲れを感じられた方が利用さ

れている。太宰府で幼稚園に通っているお子さんが少なくなっているようなので、保育園の方で支えていただけたらと思う。

健康福祉部長)

目標については、実態に合っていないと思われるので、持ち帰らせていただいて内部協議の上、皆様にお伝えしていけたらと思う。

D委員)

そのときの家庭の事情などによって変わってくるので、目標値を決めるのは難しい部分がある。

A委員)

前回もお伝えしたが、避難行動要支援者名簿について、自治会や民生委員が名簿をもらっても使えないレベルであり、自治会と民生委員が協力して中でやっていかないと進まないのではないかなと思う。もっと中まで入ってもらえるのであれば、詳しい名簿ができると思うが、今後細かい名簿はできるのか。

健康福祉部長)

実効性という部分ではたしかに課題があると受け止めている。今後どのようにしていくのか、方針を確認していく。一旦この場でのお預かりとさせていただく。

A委員)

現実的には、もっと深く入っていかないと、個別に対応するぐらいしか無理なのではないかという気がしている。

健康福祉部長)

人数も段々と増えてきている状況もあり、実効性があるためには、どのように持っていくべきなのか、再検討させていただきたいと思っている。

説明

事務局)

「基本目標 3 日ごろからつながる」について、実施報告書及び取り組み計画書の概要を説明

質疑

C委員)

54 ページの通し番号 58 番「子ども食堂の支援」について、「令和 6 年度の新規事業として『地域の居場所づくり推進事業』として、子ども食堂等コミュニティ食堂として活動する団体等に助成する事業を展開する」とあるが、実際に活用している団体はどのくらいあるのか。

健康福祉部長)

令和 5 年度は 9 団体あったが、新規事業立ち上げ支援として、備品の整備などの支援も行い、現在 11

団体となっている。おかげさまで、各小学校区に1つは食堂ができたようなかたちである。併せて、「子ども食堂」の名をやめ、「地域食堂」とし、どなたでも参加できる場所として進めている。

A委員)

前回もお願いしたのだが、49ページの通し番号51番「放課後子ども教室」について、予算はついたのか。地域コーディネーターが主になってやっているが、大学生にきてもらっても、予算がゼロでお茶一杯出せないの、予算をつけてほしいという話を前回お伝えした。

事務局)

前回お話いただいた内容は、担当課に伝えており、検討していくというところで話をしているが、令和6年度の予算としては、変更はないと聞いている。

A委員)

太宰府東小校区自治協議会では、2万円補助というかたちで出している。せめて少しは予算を出していただかないと、道具や材料などを予算なしでというのはあまりにもかわいそうな気がする。次回も行うのであれば、多少なりとも予算をつけていただければと思う。

事務局)

担当課と話をさせていただく。

D委員)

57ページの通し番号62番に、ひきこもり状態にある若い世代への支援について記載があるが、令和5年度に『ひきこもり相談会』を実施し、4名の相談者に対して相談・支援を行った」とあるが、効果はどうか。

事務局)

4名の相談者の方は、相談会を開催するとなったときに、ご自身の方から応募があり、初めて相談に関わらせていただいた。そのうち1名の方は、継続相談というところで、関わりができていますと担当課から聞いている。

D委員)

生活支援課の窓口が、裏の出入り口近くにあるが、そこから市役所に入ろうとしたときに、知人が暗い顔で、生活支援課窓口付近の椅子に座っていたため、思わず、正面玄関の方に回って入った。人目に付きやすいと思うので、できれば2階にするなどした方が安心して相談できるのではないかと思います。安心して相談できる場所があればよいと思う。

A委員)

55ページの通し番号60番に、移動スーパーについての記載があるが、これは市で事業をするということなのか。

事務局)

シルバー人材センターが実施しているものである。

D委員)

移動スーパーがあることによって、助かっているという方は多いと思う。

E委員)

先ほどお話に出た、57 ページの通し番号 62 番に記載の「ひきこもり相談会」について、4 名という成果を上げておられるが、どういったかたちで募られて集まられたのか、教えていただければと思う。

事務局)

令和 5 年度の事業については、広報だざいふに、ひきこもりに関する理解促進についての記事をつくり、その中で相談会開催のお知らせと県の相談窓口の紹介を行った。広報とホームページに掲載したところ反応があり、相談にきてくださったというところである。

## 質疑

実施報告書・取り組み計画書全体について質疑応答・意見

F委員)

全体を通して、成果目標を掲げてあるが、指標として数字を出しているのはよいことだと思う。今後でも続けて頂きつつ、予算の関係もあると思うが、この数字を今掲げられていない事業についても、広げていただければ、委員としても評価がしやすくなると思う。

C委員)

同意見である。なるべく数字で出ていた方が、比較ができ、年度ごとの推移も見れてよいと思う。成果目標をそれぞれもう 1～2 個増えていくとよいと感じた。

## ■その他

### ・事務局より連絡事項

次回の委員会は、令和 7 年度の開催となる。今年度はご意見いただく場が本日 1 回のみということになるため、本日お話いただけなかった市へのご意見やご提言等ある場合は、メール・電話にてご連絡ください。担当課と共有し施策に反映していければと思う。

今後は、容量が多いもののみ郵便で送付させていただき、それ以外の開催案内などについては、メールまたは FAX にて送付させていただく。

終了